

株式会社タニタハウジングウェア(東京都板橋区)

【製造業(金属製雨とい等)】

LEADER

代表取締役社長 谷田 泰 氏

商工会議所のイテオン

ワークライフバランス
の推進

雨とい等の建築用外装材を製造するタニタハウジングウェア。育児休業後の復帰率は100%で、平均残業時間が月9時間45分と、全社的に時間外労働も少ない。仕事と生活の両立支援に積極的に取り組んでいることが評価され、「TOKYOワークライフバランス認定企業」等に選定されている。

働きやすい環境づくりで成果向上

■背景・きっかけ:

谷田社長は「男女関係なく、優秀な社員の退職は企業にとって大きな損失。社員が退職しなくて済むよう、必要に応じ、制度を変更している」と語る。自身もサラリーマン時代に、共働きをしながら子供を3人育てた経験がある。

■取組内容・効果:

社員にとってよい労働環境をつくることにより、結果として仕事の成果も上がるとし、谷田社長は会社の使命や方針を明確にするとともに、社員と共有している。環境の変化に柔軟に対応し、何のための仕事か、顧客は誰か、社員と共に問い直しながら改善を重ね、成果を確認する。併せて、合理的に、不要な仕事の廃止を決断している。

そして、「この社員は今この制度があれば、仕事を継続できるはず」と、管理部管理課の矢野由加氏と堀川美紀氏は、両立支援と働き方の見直しを2本柱に、社員の働く環境整備に奮闘している。両立支援として、育児短時間制度を法定を上回る就学前までとしているほか、社長が社員の家族を招く「ファミリーデー」を2011年から続けたり、社員の子供の小・中・高・大・(専)入学時に10万円支給している。また、働き方の見直しとして、フレックスタイムの導入やパートから正社員への転換制度等、様々なメニューを用意している。

ワークライフバランスに力を入れ、平均残業時間が全社月9時間45分と、時間外労働も少ないが、同社の行動指針の一つ「顧客価値の優先」が徹底されているため、同社の製品の精度や技術力は、顧客から絶大な信頼を得ている。

また、次世代の育成として、NPO緑のカーテン応援団事務局を務め、東日本大震災後の仮設住宅19,494戸に緑のカーテンを設置するプロジェクトの推進等にも取り組んでいる。

■今後の展望と課題

働きやすい職場と考える社員が多い同社の現状は、平均年齢41歳、平均勤続年数19年。育児休業後の復帰は100%で、離職率は0.5%である。

今後、介護に直面するケースも想定されるため、残業削減や有給休暇取得率の一層の向上に努めるとともに、仕事の平準化、多能化を進めたいとしている。



ファミリーデー



中学生職場体験と小学生出前授業



会社が大好きな社員達

中小企業の実践 ポイント

- ▶ 社員を大切にする姿勢をトップが示す
- ▶ 両立支援制度の整備と使いやすい雰囲気づくり

【企業データ】

代表者	谷田 泰	会社設立年	1947年	従業員数	129人
本社所在地	東京都板橋区東坂下2-8-1	ホームページ	https://www.tanita-hw.co.jp/		
事業内容	製造業(金属製雨とい、外装材、雨水利用商品)				